

単元名 絵の具でゆめもよう(絵)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 試してできた形や色の感じを見付け、模様の組み合わせ方を工夫することができる。
 (2) いろいろな表し方で、できた紙を使って表したいことを考えるとともに、自分や友達と工夫したところを見せ合い、表現のよさや面白さを感じ取ることができる。
 (3) 絵の具と用具を使って、いろいろな表し方を試し、表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

04080102_001

【準備等】画用紙（いろいろな大きさに切っておいたもの、模様の紙を貼り付けるためのA3程度のもの）
 ボール紙、段ボール、スパッタリングセット（網・ブラシ）、ストロー、スポンジ、ビー玉、水彩用具一式、はさみ、のりなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 身近な材料や用具の使い方を工夫して、いろいろな方法で紙に模様を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品を見て、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 段ボールで転がしてスタンプにしている。 ストローで拭いて模様をつくっている。 恐竜の型紙をつくっている。 ビー玉で模様をつくっている。 ★絵の具を使って、いろいろな模様の紙を作ろう さまざまな技法を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 段ボールなどでスタンプをする。 型紙を置いてスパッタリングをする。 身近な材料で絵の具をつける。 ビー玉で模様をつくる。 ストローで吹く。 いろいろな表し方で紙に模様を付ける。 （考えられる工夫） <ul style="list-style-type: none"> 絵の具の色を変える。 ストローを吹く向きを変える。 型紙の種類を増やす。 <p>3 できた紙を友達と見合い、工夫やよさについて話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と工夫を見合い、よさや面白さを見付ける。 <p>○つくった紙を見ながら、どんな作品ができるかを考える</p> <p>4 つくった紙で、コラージュ（貼り絵）をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表したいものをコラージュで表す。 <p>○友達作品のよさをみんなで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな模様の恐竜がいる。 ドラゴンの命にいろいろな色や形がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書3・4下 P. 8 どんな模様の紙があるか、教科書を参考にしながら、気付いたことを話し合わせる。 紙に模様をつける方法を実際に示す。 用具の使い方は、教師が一つずつ説明をする 材料別にコーナーを設けて、一人一人の児童が公平に選び試せるよう、たつぷりと種類別にトレイなどに分けて魅力的に配置する。 ローラー、ぼかし網、歯ブラシなどは班ごとにトレイに入れて置き、交代で使う。 用具の使い方を工夫して、いろいろな表し方を試してみるように助言する。 紙の材質、使う色、使う材料によって、様々な模様ができることに気付かせる。 【評】模様づくりの材料や技法を試し、工夫して表現する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 友達の表現のよさや面白さを見付けて発表させ、参考になる表現を取り入れるとよいことを伝える。 表現の思いを温められるような雰囲気をつくる。 【評】自分や友達がつくった模様を見せ合い、よさや面白さを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 紙を実際に並べながら考えるようにさせる。 実際にコラージュを行う中で、計画と変わっていくことも認めていく。 【評】つくった紙を使って、どんなものを表現できるか考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 よさを認め合うような鑑賞を行う。 【評】作品のよさを認め合ったり、作品への思いを感じ取ったりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】